

なかじょう ひらきだ
中条・平木田地区
(新潟県胎内市)

○計画期間 平成18年～平成22年

○面積 710h a

○交付対象事業費 1,220百万円

○市人口 28,781人

ポイント 公共交通を活用したコンパクトシティの実践「公共交通機関の利用促進を図る駅前広場整備事業」

地区概要 駅前広場等の基幹事業を中心に整備を行い、商業・工業・観光が融合し、住む人が心・快適に暮らせるやさしいまちの創造を図る。

目標 駅を起点とするにぎやかな商業観光の拠点づくり、災害のない安心で快適に暮らせるまちの実現及び生活交通基盤の整備による市民生活の充実と公共交通機関の利用促進により、地域振興を図る。

指標

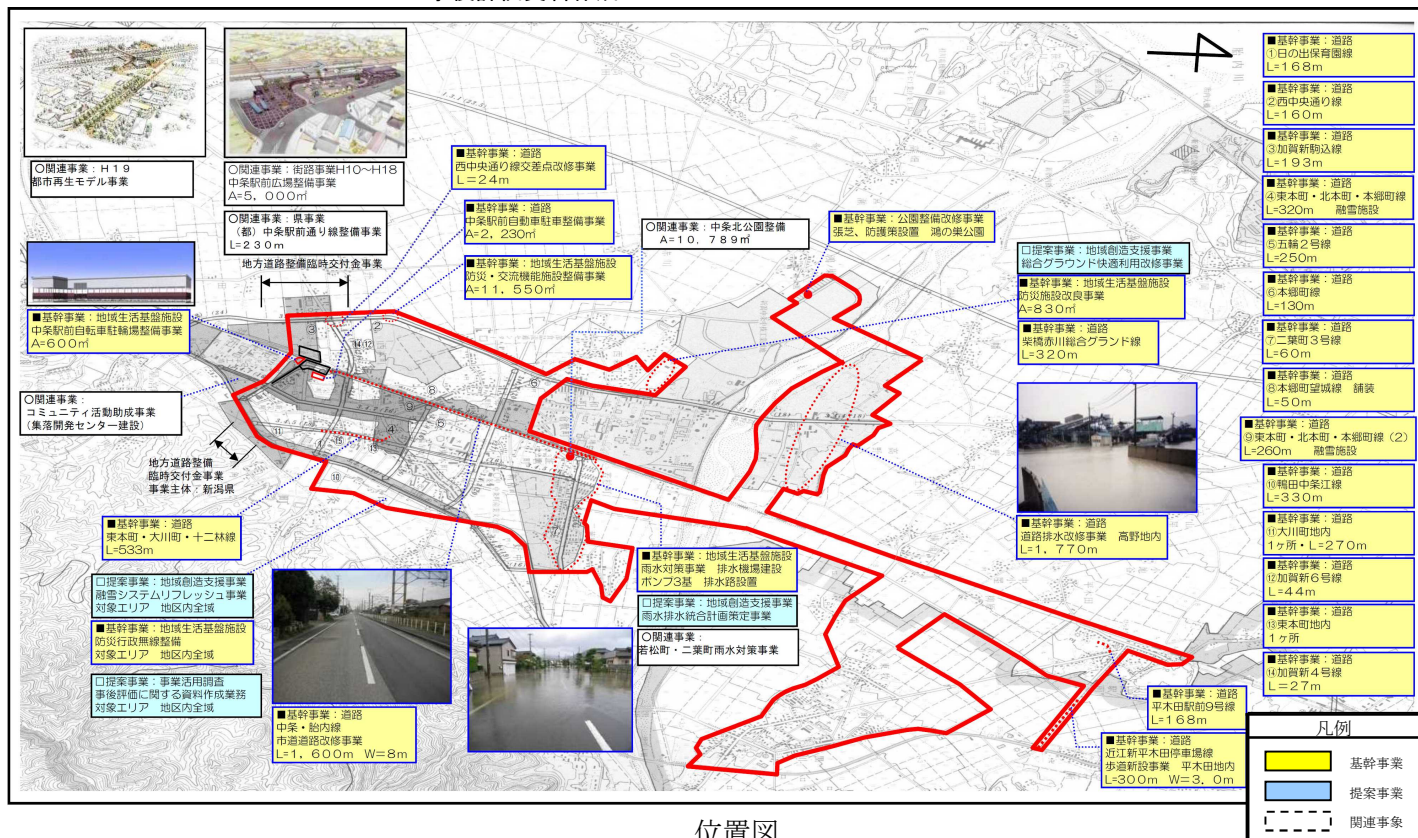
『自然が生き、人が輝く、交流のまち』という観点から、地域に住む人と商業・工業・観光の活性化と憩いの場としての公園利用者の増加と、『安心・安全を創造する』地域防災機能の向上を指標に設定する。

	従前値		目標値	実績値
中条駅乗降客数	2,736人/月平均(H17)	-	2,482人/月平均(H22)	2,482
道路冠水災害発生階数	5回/年(H17)	-	0回/年(H22)	0
地区内商店工場進出数	0件(H17)	-	10件(H22)	12
公園利用者数	930人/月(H17)	-	1,200人/月平均(H22)	840
駅前駐車場利用者数	391人/月平均(H19)	-	431人/月平均(H22)	505

事業内容

基幹事業 (1,190百万円) → 道路 (21カ所 6,977m 改築、修繕、消雪パイプ整備)、公園整備 (1箇所)、駐車場 (2箇所 277台)、防災行政無線、排水機場 (ポンプ3基 排水路)、防災・交流機能施設整備、防災施設改良

提案事業 (30百万円) → 総合グランド改修 (289m) 雨水排水統合計画策定事業 融雪システムリフレッシュ事業、事後評価資料作成



位置図

地区の完了後の状況

中条駅前に自転車駐車場と自動車駐車場を整備し、中条駅利用者や中条駅周辺来訪者の駐車空間が確保され、道路を整備（交差点改良、歩道新設、舗装など）し、道路交通が円滑となった。

・融雪システムリフレッシュ事業により市内の融雪用井戸ポンプや送水系統を調査し、効率的な融雪システムの構築に向けたまちの防災機能の方向性が示され、これに基づき道路を整備（排水改善、消雪パイプ設置など）し、豪雨時や豪雪時の道路交通が確保された。

・雨水排水統合計画を策定し、市民が安心して生活できる居住空間の創造へ向けたまちの防災機能の方向性が示され、これに基づき排水機場を整備し、道路の冠水被害が軽減された。

・防災行政無線を整備し、災害時の情報の通信機能が向上した。

・新設される小学校において、防災・交流機能施設整備事業により避難場所を建設したり、調整池を整備したりすることで防災機能が備わった。

・防災施設改良事業により災害時の避難所に指定されている総合運動場を改良し、施設の防災機能が向上した。



■地域生活基盤施設
自転車駐車場整備事業



■地域生活基盤施設
自動車駐車場整備事業



■地域生活基盤施設
防災行政無線整備事業



■道路
道路整備事業

提案事業の特徴

総合グラウンド快適利用改修

日本陸連2種公認競技場があるこの施設一体は、市内外から多くの利用者が訪れる。しかし、汚水処理が下水道に接続されていないためトイレ等の衛生設備に対し、多くの不満が寄せられており、これら衛生設備の改善を行う。

融雪システムリフレッシュ

降雪の多い当市では、地下水を利用した融雪設備を利用し冬期間も市民の生活基盤となる道路の確保を行っている。しかし、設備の老朽化等により、効率ある運用が出来なくなっていることから、地区内の井戸並びに送水系統を見直し、より効率的で経済的な融雪システムにするべく、その計画を策定する。

雨水排水統合計画策定

近年の市街地開発により宅地化の進んだ地区において、既存の排水計画では、道路冠水をおこす箇所が発生する危険性があることから、市民が安心して生活できる居住空間を創造するため、雨水排水処理計画を策定する。

計画策定プロセス

都市計画マスタープランの研究

庁内で研究会（H9～H11年度）を発足させ、「まちの評価と問題点の抽出」「それらを踏まえ、まちづくりプランとして整理」「策定の経過とその方針の確認」「まちづくり懇話会の意見を踏まえた、まちづくりの目標の検討」について話し合いを行った。

まちづくり懇話会の設置

公募と推薦からなる住民の代表と行政の代表からなる策定委員会を設置（H10年度）し、生活・産業の分科会に分かれ「まち歩きワークショップ」を通じてまちづくりの課題の抽出と目標の設定を行った。

町長への答申

上記活動を通じて策定した「都市計画マスタープラン計画書」を都市計画審議会に諮問し、原案どおり決定するよう答申がなされた。（H14年度）



▲H19年に供用開始した駅前広場



▲平成30年に完成した西口駅前広場



▲総合グラウンドの利用状況（市民運動会）



▲都市計画審議会の様子



▲ワークショップの様子